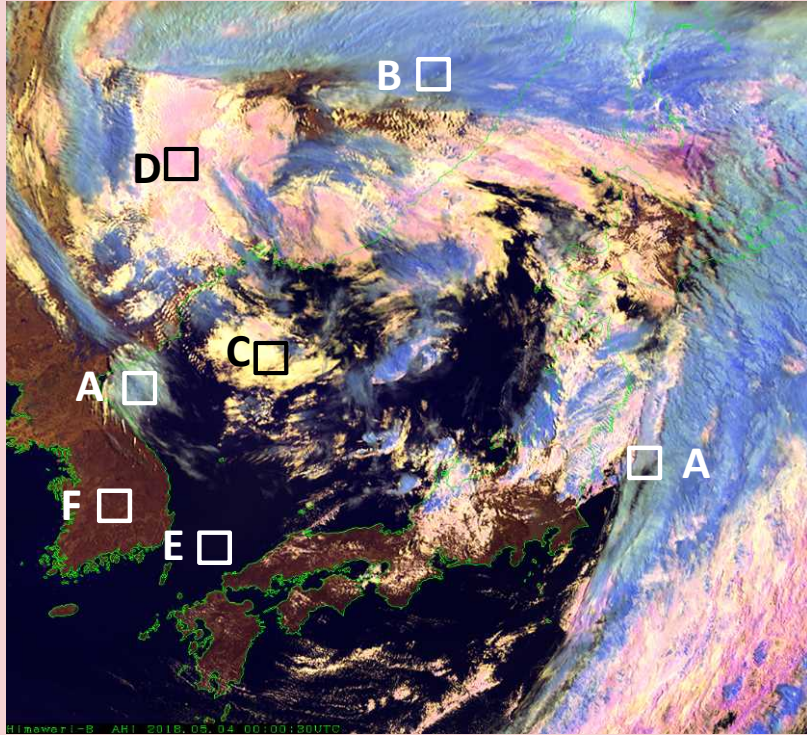
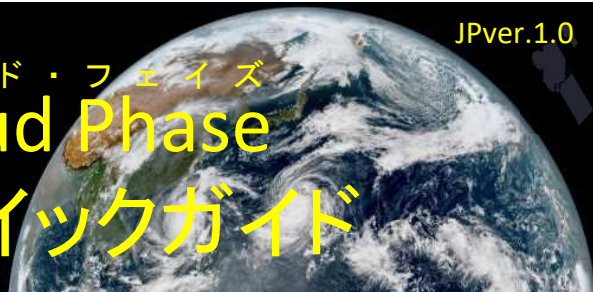


ディ・クラウド・フェイズ

Himawari Day Cloud Phase (日中雲相) RGB クイックガイド



沿海州・日本海付近の寒冷低気圧に伴う組織的な雲域の事例。(2018年5月4日 9時 (JST: 日本標準時))

- A ■ : 小さな氷晶を伴う厚い氷雲
- B ■ : 大きな氷晶を伴う厚い氷雲
- C ■ : 小さな水滴を伴う厚い下層の水雲
- D ■ : 大きな水滴を伴う厚い下層の水雲
- E ■ : 海域
- F ■ : 陸域

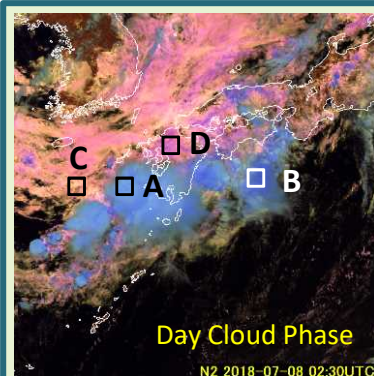
おもな利用用途: 雲域の厚さ、相・粒径の判別

利点:

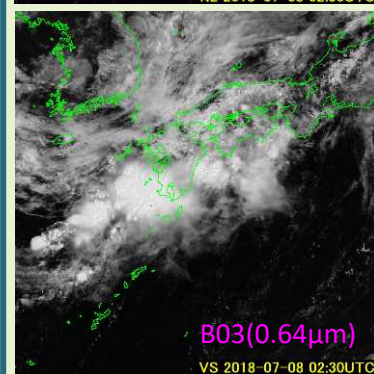
- 氷雲と水雲の識別に有用。
- 合成要素であるバンド6 (2.3 μm) の特性により雲粒子の大小と相がわかる。
- 大きな水滴を含む水雲の識別に適する。

注意点:

- 日中のみ利用可能。
- 詳細な雲域の状態 (雲頂の高さなど) を解析するには他の画像 (Day Microphysics RGBなど) との併用が望ましい (バンド13 (10.4 μm) などの赤外輝度温度の情報が含まれないため)。



西日本の梅雨前線付近のCbを含む雲域の事例 (2018年7月8日 11時30分 (JST))。



可視画像 (下) で詳細な雲解析をする場合は雲域の形状・パターンから判断する必要がある。Day Cloud Phase RGB合成画像 (上) ではCb等厚い雲域、下層雲の識別に加え雲相もわかる。

- A ■ : 小さな氷晶を伴う厚い氷雲
- B ■ : 大きな氷晶を伴う厚い氷雲
- C ■ : 小さな水滴を伴う厚い下層の水雲
- D ■ : 大きな水滴を伴う厚い下層の水雲

Day Cloud Phase RGB 合成画像の推奨設定 (調整レシピ) および各色を構成する画像特性

色	AHI 観測バンド	中心波長 [μm]	Min [%]	Max [%]	ガンマ値	関連する観測特性	色調への寄与が比較的小さい観測対象	色調への寄与が比較的大きい観測対象
赤 Red	B05	1.6	0%	50%	1.0	雲の相	氷雲	水雲
緑 Green	B06	2.3	0%	50%	1.0	雲の粒径 (と相)	大きな雲粒を伴う厚い雲	小さな雲粒を伴う厚い雲
青 Blue	B01	0.47	0%	100%	1.0	雲の光学的厚さ	薄い雲	厚い雲 雪氷域・海水

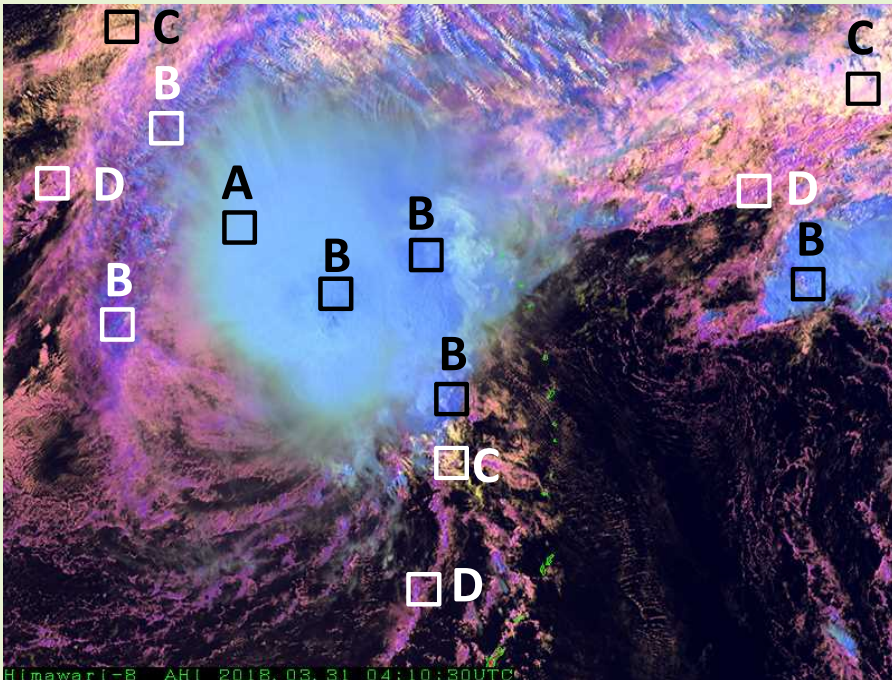
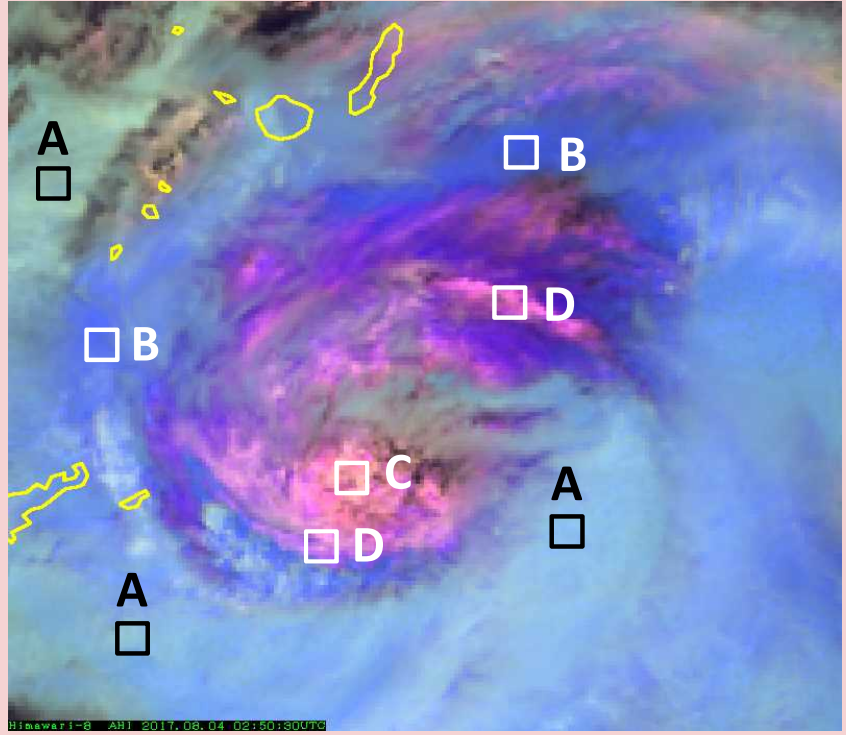
Himawari Day Cloud Phase

(日中雲相)RGB クイックガイド

Cloud Phase Distinction RGB合成画像による平成29年台風第5号(Noru)の中心付近の事例(2017年8月4日 11時50分(JST))。

台風目の内側に水滴を伴う紫色の下層雲(図中Dで示される)で構成される詳細な構造と相を確認できる。

- A ■ : 小さな氷晶を伴う厚い氷雲
- B ■ : 大きな氷晶を伴う厚い氷雲
- C ■ : 小さな水滴を伴う厚い下層雲(水雲)
- D ■ : 大きな水滴を伴う厚い下層雲(水雲)



マリアナ諸島付近における平成30年台風第3号(Jelawat)。(2018年3月31日 13時10分(JST))

- A ■ : 小さな氷晶を伴う厚い氷雲
- B ■ : 大きな氷晶を伴う厚い氷雲
- C ■ : 小さな水滴を伴う厚い下層雲(水雲)
- D ■ : 大きな水滴を伴う厚い下層雲(水雲)

Day Cloud Phase RGB 合成画像の色解釈

表示色	解釈
■	小さな氷晶を伴う氷雲
■	大きな氷晶を伴う氷雲
■	小さな水滴を伴う水雲
■	大きな水滴を伴う水雲

注: 色調解釈については調査中のため将来修正の可能性あり。